

Culib News (クリブニュース)

No.56 2008年4月1日 中京大学図書館発行

ことばの散歩—19—

知る / know

図書館長 安村 仁志

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

春は“おめでとう”がいちばん似合う季節です。「御芽出度う」と字が当てられることにも、生命の息吹が感じられます。“Congratulations”は、新しく発足した国際教養学部で学ばれる言語では、Félicitations (フランス)、Glückwünsche (ドイツ)、Felicitaciones (スペイン)、Поздравляю вас (ロシア)、祝贺 (中国) になるでしょうか。そして、改めて“おめでとうございます”。

さて、この数行に書かれていることについて、“まったく知らなかった、初めて知った”から“前から全部知っている”まで、“知っている”ということに関しては幅があることでしょう。私たちは、私たちをとりまくさまざまな事象に“知る”ということをもってかかわっています。「そもそも人は誰でも知りたいと思うもの」とは、アリストテレスのことばだそうですが、私たちはさまざまな意味で、さまざまなことを“知りたい”と思っています。一方、“知らなければならない”場面も多々あります。一般に学校とは、まさに、“知りたい”と思って来るところ、“知らねばならない”ことが多種多様用意されているところといえましょう。

知ることは変わること

今まで知らなかったことに触れると嬉しくなります。それを求めて、私たちは未知の世界に足を運び、書を読み、人に尋ねますが、“知る”という行為は、ただ頭をつかって行うものでなく、眼 (見る)・耳 (聞く)・手 (触れる)・舌 (味わう) などからだ全体で行うものです。知らねばならないということも多くあるとは先にも述べた通りですが、学問は“知りたい”、“知らねばならない”に触発される領域です。ですから、楽しいことでもあり、また苦勞することにもなります。一方、生活の場では知りたくないことにかかわらざるを得ないこともあり、煩わしさを感じることから、「知らぬが仏」ということばも出てきます。そういう意味で、“知る”ということには、心地よいことにせよ、いやなことにせよ、経験すること、かかわりを持つという要素も含まれています。このようにさまざまな意味合いがありますが、“知る”ということの究極は“変わる”ことになるように思われます。すなわち、本当の意味で“知った”と言えるときには、知る前の自分とは異なり、新しくなっているということではないでしょうか。

know

英語の know という語に触れて誰もが一度は思ったことがあるのではないのでしょうか——どうして〈ノウ〉と読むのだろう、“k”はなぜあるのだろうか、と。古英語は cnawan で、ゲルマン祖語の knoanan

に由来するようで、元々 [k] はあったようです。同じような例は、knife < cnif、knee < cneo、cneow、knight < cniht、knock < cnocian などにもみられます。know はさらにさかのぼると gno- になるようですが、そうすると1世紀に生まれ、3-4世紀に地中海世界で勢力を持った古代の宗教・思想の一つで、認識によって真の神に到達できるとした「グノーシス（主義・派）」が浮かんできます。その〈グノーシス γνωσις〉とは「認識」を意味します。ラテン語でも「知る」は (g) noscere です。知によって神に到達できるという筋道は人間が求める一つのパターンなのでしょうが、それは神の前に立つ人間としてはふさわしくないと、当時のキリスト教からは異端視されました。しかし、グノーシス的思考は今日も力を持っています。

無知の知、汝自身を知れ

人類は知識を積み重ね、神の領域にまで入り込んでいるかに見える一方で、自己本位的であるため調和を欠いて、今日大きな課題を突きつけられてもいます。個人においても、多くを知っていると思いきや、多くを知らずという弱さをもっています。ですから、“知”に対して謙虚であることを勧めることばが古今東西生まれてきました。「一つだけ知っていることは、自分が何も知ってはいないということ」(ソクラテス)、「われらは、我らが知らぬということさえ知らず」(アルケシラオス)は古代ギリシアのことばですが、東洋にも「知者不言、言者不知 (知る者は言わず、言う者は知らず)」(老子)があります。ソクラテスとの関連で言えば、有名なことばが「汝自身を知れ」(Γνῶθι Σεαυτόν グノーティ・セアウトン)です。世界に広く伝えられていますので、先の六ヶ国語で紹介しておきましょう。“Know Thyself” (English)、“Connais toi meme” (French)、“Erkenne dich selbst” (German)、“Conócete a ti mismo” (Spanish)、“Познай самого себя” (Russian)、“认识自己” (Chinese)。このことばは古代ギリシャでデルフォイのアポロ神殿の門に掲げられていたと言われますが、ソクラテスはこれを自身の哲学の中核としたとされ、学問・教育のモットーに掲げられることの多いものです。日本、世界の多くの大学のモットーになっていますが、高校でも校訓となっているところがあります(一例 北海道立美幌高校)。“クセジュ Que sais-je?” ——これはある新書のシリーズとして親しまれていますが、フランス語で「私は何を知っているのだろうか」という意味で、16世紀ルネサンス期の哲学者のモンテーニュ (Michel Eyquem de Montaigne 1533-1592) の言葉だといわれます。“自分は何も知ってはいないのではないか”につながる自らへの問いかけで、この精神はデカルトやヒュームに影響を与え、新しい哲学の芽生えとなったといえます。学問をしていく上でも大事にしたいことです。

He who knows but one knows none

これは明治初期に福井の明新館、東京大学の前身大学南校で物理・化学などを教え、後に日本論 “The Mikado’s Empire” を著したウィリアム・グリフィス (Griffis William Eliot 1843-1928) が新渡戸稲造の “BUSHIDO” の緒言で述べていることばです。この書が欧米の文化・思想と比較しながらの日本文化論であったことから、一つだけ知っている (know but one) のでは不十分 (know none) で、比較することが大切であることを示しています。麺類に関して “うどん” しか食べたことのない人は、“うどんが好きです” とは言えても、麺類のなかで “うどんが (こそ) 好きです” とは言えないでしょうし、うどんを十分に知っていることにはならないのかもしれませんが。日本文学を学んでいく学生を対象に「比較文学」の講義をするときに引き合いに出す例ですが、“麺類”の代わりに「文学」、「うどん」に「日本文学」、「食べた」に「読んだ・学んだ」を入れて、うどん／日本文学をよりよく味わい知るうえで、そば・きしめん・ラーメン・スパゲティ／(例えば英・独・仏・露といった) 外国の文学をも少し食べ／味わい知り、比べてみることを勧めています。“知る”ということとは奥深く、広がりのあることです。よき学びをしてください。

児童文学の旅(7)

—グリム兄弟、ドイツ：メルヘン街道—

原 昌

イタリアのベニス（ベネツィア）から、娘とともにドイツに入ったのが、1978年夏であった。はじめに〈メルヘン街道〉を訪れるつもりだったが、崩れゆくベニスに行って、ゴンドラに乗りたいという娘の願いを叶えて、ベニスに立ち寄った。ところが、フェスティバルの日で、海岸縁は音に溢れ、乱舞、狂乱していた。泊まる宿もなく、ミラノを往復する夜行列車のなかで夜を明かし、あくる朝またベニスに戻った。

その日の午後、列車を乗り継いで、ドイツのブレーメンに着いたのである。市街地には「ブレーメンの音楽隊」の動物たちの像があり、次の訪問地ハーメルンでは、「笛吹き男」の音色の美しい仕掛け時計の音を聞いた。そして「いばら姫」の舞台のザバブルグに向かったのである。

ところで、どんな名前の駅で降りたのか、覚えていない。ちいさな駅で降りてから、城までバスもないので、タクシーに乗った。田園を過ぎ、林の一本道に入り、しばらく走ると、木々が開け、はるかむこうに、こんもりとした森の丘が見えてきた。その森の裂け目に、城の尖塔だけが覗く。14世紀に建てられて、19世紀に廃城になったという。深い森に入ると、カシの巨木が多くて暗い。城の壁にはツタが這い、外壁は濃いグレイに染まって、600年以上も経た風格を語っていた。だが、城のまわりには、いばらの茂みもなかった。物語では、姫が魔女により100年の眠りにつき、訪れた王子に、いばらの門が開かず、やがて100年が過ぎ、訪れた王子に門が開かれ、姫は王子のキスによって目覚めるといった筋だったが、私には〈いばら〉が何故ないのかという疑念が湧いた。

やがてザバブルグを去り、カッセルのグリム博物館に立ち寄って、自筆原稿や「子どもと家庭の童話」の初版本に触れた。

次には、列車でアースフェルトの古い小さな町に着いた。木組の家の街並みがあり、「童話の国」に来たような錯覚を覚えた。まず「おもちゃ博物館」に立ち寄ったが、ドアがしまっていたので、通りがかりの人に、娘のたどたどしいドイツ語で訊ねたら、どうやら休館日だった。でも日本から来たといったら、近くに住む館員に開けるように頼んでくれた。ちいさな街での、大きな親切であった。館内には、民族衣裳をきた人形たちやおもちゃの木組の家がたくさん並んで、歓迎しているようだった。館を去ってから、近くのシュバルムの泉にいき、赤ずきんの淡い黄土色をした像を見た。高い台のうえに、民族衣裳をまとい、その可憐な像は、遠い空を見上げていた。そんなとき、私はイギリスの文豪C. ディケンズの述べた言葉「赤ずきんは、私の生まれてはじめての恋人だった。かの女と結婚できたら至上の幸福だったろうに—」と、幼年時を回想していたことを、思い起こした。

もう街はすっかり薄明に覆われて、静寂だった。このアースフェルトで、結婚していく娘と私との最後の旅は終わった。

(中京大学名誉教授)



「いばら姫」の舞台
ザバブルグ城



新着図書のご案内



*2007年12月～2008年2月の受入図書の中から一部をご紹介します

書名	著者	出版社	出版日付	資料 ID	所在	請求記号
図書館が教えてくれた発想法	高田高史著	柏書房	2007.12	1096255	LSC 開架書庫	015.2/Ta 55
図書館の達人!本のさがし方がわかる事典:調べるのがおもしろくなる	金中利和監修/造事務所編集・構成	PHP 研究所	2007.11	1094844	LSC 開架大型本書架	014.4/To 72
できる大人はこう考える(ちくま新書:700)	高瀬淳一著	筑摩書房	2008.1	1095319	LSC 開架文庫新書書架	080/C 44/700
ルポ貧困大国アメリカ(岩波新書:新赤版 1112)	堤未果著	岩波書店	2008.1	1096258	LSC 開架文庫新書書架	080/I 95/4-1112
僕は在日「新」一世(平凡社新書:397)	ヤン・テフン著/林信吾構成	平凡社	2007.11	1095507	LSC 開架文庫新書書架	080/H51/397
人の力を引き出すコーチング術(平凡社新書:404)	原口佳典著	平凡社	2008.1	1095513	LSC 開架文庫新書書架	080/H51/404
ジャズに生きた女たち(平凡社新書:406)	中川ヨウ著	平凡社	2008.1	1095515	LSC 開架文庫新書書架	080/H51/406
モテたい理由:男の受難・女の業(講談社現代新書:1921)	赤坂真理著	講談社	2007.12	1095061	LSC 開架文庫新書書架	080/Ko 19/1921
にっぽんの知恵(講談社現代新書:1923)	高田公理著	講談社	2008.1	1095642	LSC 開架文庫新書書架	080/Ko 19/1923
世界を語るということ:「言葉と物」の系譜学(哲学塾)	清水哲郎著	岩波書店	2008.1	1095641	LSC 開架書庫	108/Te 86
パラドックスの扉(哲学塾)	中岡成文著	岩波書店	2007.12	1095019	LSC 開架書庫	108/Te 86
都市型社会の自治	松下圭一著	日本評論社	1987.10	1095033	LLC 開架書庫	318.7/Ma 88
社会を展望するゲーム理論:若き研究者へのメッセージ	鈴木光男著	勁草書房	2007.10	1094314	LSC 開架書庫	331.19/Su 96
モノづくり幻想が日本経済をダメにする:変わる世界、変わらない日本	野口悠紀雄著	ダイヤモンド社	2007.10	1094358	名古屋閉架書庫	332.107/N 93
エンドレス・ワーカーズ:働きすぎ日本人の実像	小倉一哉著	日本経済新聞出版社	2007.11	1094796	LSC 開架書庫	366.32/O 26
格付会社の研究:日本の5社の特徴とその比較	黒沢義孝著	東洋経済新報社	2007.12	1094940	LSC 開架書庫	338.55/Ku 76
文化の対話力:ソフト・パワーとブランド・ナショナリズムを越えて	岩淵功一著	日本経済新聞出版社	2007.12	1095161	LSC 開架書庫	361.5/I 92
家族のゆくえ	小川晴子、本田弘子編著	三学出版	2002.4	1094843	LSC 開架書庫	367.3/O 24
日本の狂気	ジェリー・S・ピヴェン、勝田有子著	日本評論社	2007.11	1094806	LSC 開架書庫	368/P 69
オッリペッカ・ヘイノネン:「学力世界一」がもたらすもの(NHK 未来への提言)	オッリペッカ・ヘイノネン、佐藤学著	日本放送出版協会	2007.7	1095207	LSC 開架書庫	372.3892/H51
モンスター・ペアレント:ムチャをねじ込む親たち	本間正人著	中経出版	2007.12	1095630	LSC 開架書庫	374.6/H 83
大丈夫か、わが国の危機管理(国民會館叢書:74)	志方俊之著	國民會館	2007.11	1095085	名古屋閉架書庫	390.4/Sh 33
チョコレートの真実	キャロル・オフ著/北村陽子訳	英治出版	2007.9	1094414	LSC 開架書庫	617.3/O 19
やみくも:翻訳家、穴に落ちる	巢鴨右季子著	筑摩書院	2007.12	1094899	LSC 開架書庫	914.6/Ko78
蝶の舌(Book plus)	マヌエル・リバス著/野谷文昭、熊倉靖子訳	角川書店	2001.7	1094304	LSC 開架書庫	969.93/R 49

書名	著者	出版社	出版日付	資料 ID	所在	請求記号
日本を降りる若者たち (講談社現代新書：1917)	下川裕治著	講談社	2007.11	0928976	豊田開架文庫 新書書架	080/Ko 19/ 1917
バカにならない読書術 (朝日新書：072)	養老孟司、池田清彦、吉岡忍著	朝日新聞社	2007.10	0928856	豊田開架室	019/Y 95
健康の天才たち (新潮新書：234)	山崎光夫著	新潮社	2007.10	0928855	豊田開架室	281/Y 48
父親の品格： 凜として、父親としての自覚	川北義則著	ダイヤモンド社	2007.9	0928821	豊田開架室	379.9/Ka 94
ニッポン天才伝：知られざる発明・発見の父たち (朝日選書：829)	上山明博著	朝日新聞社	2007.9	0929221	豊田開架室	402.106/ U 51
カラダと健康その「常識」は非常識	湯浅景元著	日本文芸社	2007.9	0928925	豊田開架室	498.3/Y 96
感性と情報： 新しいモノづくりのために	長島知正、久保洋、魚住超、金木則明編著	森北出版	2007.8	0928452	豊田開架室	501.84/ Ka 59
環境問題はなぜウソがまかり通るのか 2 (Yosensha paperbacks：024、029)	武田邦彦著	洋泉社	2007	0928822	豊田開架室	519/Ta 59/2
恋するフェルメール： 36作品への旅	有吉玉青著	白水社	2007.7	0929132	豊田開架室	723.359/ A 78
笑いの方程式：あのネタはなぜ受けるのか (DOJIN 選書：10)	井山弘幸著	化学同人	2007.9	0928442	豊田開架室	779.14/I 97
究極のトレーニング：最新スポーツ生理学と効率的カラダづくり	石井直方著	講談社	2007.8	0928850	豊田開架書庫	780.7/I 75
そのとき選手が変わった！ (中経の文庫)	児玉光雄著	中経出版	2007.9	0929066	豊田開架室	780.7/Ko 18
スポーツトレーニングの常識を疑え！	日本トレーニング指導者協会編著	ベースボール・マガジン社	2007.9	0928813	豊田開架室	780.7/N 71
勝ちにいく！ストレッチ：“勝負強いカラダをつくる部位別アイテム満載 (からだ読本)	長畑芳仁著／猪俣弘史イラスト	山海堂	2007.9	0928833	豊田開架室	781.4/N 13
昭和の子供は青澗をたらしっていた	池田敏秀著	講談社	2007.8	0929150	豊田開架室	914.6/I 32
大人になるための社会科入門	乙武洋匡著	幻冬舎	2007.8	0928924	豊田開架室	914.6/O 86
樹海の妖魔 上・下 (ラーマーヤナ：5、6)	アショーク・K・バンカー著／大嶋豊訳	ポプラ社	2007.1	0929163	豊田開架室	933.7/B 18/5
「都市的なるもの」の社会学	大谷信介著	ミネルヴァ書房	2007.10	0929583	豊田開架室	361.78/O 84
ワークライフバランス入門： 日本を元気にする処方箋	荒金雅子、小崎恭弘、西村智編著	ミネルヴァ書房	2007.11	0929569	豊田開架室	366.7/A 63
教育の品格：国家もヒトも品性・風格の根源はここにある	鶴川昇著	文芸社	2007.11	0930246	豊田開架室	370.4/U 58
不都合な真実：地球温暖化の危機：ECO 入門編	アル・ゴア著：枝廣淳子訳	ランダムハウス講談社	2007.6	0930442	豊田開架室	451.85/G 67
モノ創り & ものづくり： アイデアから具現化まで	平野重雄、関口相三編著	コロナ社	2007.12	0929537	豊田開架室	531.9/H 66
石油ピークが来た：崩壊を回避する「日本のプラン B」 (B&T ブックス)	石井吉徳著	日刊工業新聞社	2007.10	0930447	豊田開架室	568.09/I 75
有頂天家族	森見登美彦著	幻冬舎	2007.9	0930450	豊田開架室	913.6/Mo 54

毎月約2,000冊の新しい本が入っています。
OPACでも検索してみてください。

希望する本がなく蔵書として入れてもらいたい場合は、カウンターへお申し出下さい。



読んでみよう！やってみよう！

最終回

文学部 日本文学科3年 山崎 綾子

皆さんは読書が好きですか？ どんな本を読みますか？

題にあるとおり、「本を読んでやってみよう」というテーマで私と本との思い出をお送りしてきましたが、今回で最後です。

私は小さい頃読書家でした。母が本好きで、小学校低学年くらいまでは寝る前に必ず本を読んでくれました。だから家には子供向けの本がたくさんあって、暇つぶしによく読んでいました。学校の図書室の本を一年で百冊読もう！なんて息巻いていたこともあります。確か、あと1冊で達成！というところで本が借りられない時期に入って、結局百冊はかないませんでした。今は寝る前に時間があると読む程度です。これでは文学部の先生方に怒られるかもしれません…。

そんな読書家だった頃の私が憧れた絵本が『リキのずっこけじてんしゃ』です。

元気がきかんぼうな男の子リキは、いつもママに叱られているのにうんざりして、家出をしようと決意します。大事な自転車を持って行って、オウムを連れて、それならば猫も、犬も、生活用品も、鉢植えも…なんてやっているうちに家の柱を切り取って持っていこうとしてしまいます。さらにリキはガールフレンドのリリちゃんも、宿題のためにパパも、パパはお風呂が大好きだからお風呂も、パパを連れていくならママも…。と、どんどん持っていくものが増えていきます。いざ出発しようとしたら、当然ながら自転車は動かず（自転車にそれだけのものを載せようとするのがすごい）、無理に漕ごうとしたら自転車は壊れてしまい、載せていたものは落ちて大変なことになってしまいました。その後、リキはママにまた叱られ、それでもめげずにママの自転車での再挑戦を誓うのでした。

この本を初めて読んだ時は、子どもの自分でもわかるような無茶をしようとするリキの行動力に、本当に憧れました。イラストをみるとよくわかるのですが、柱を切り取ってしまった家はもちろん潰れているし、リキの用意した「家出セット」の崩壊でパパのお風呂は壊れ、パパは裸のまま木陰への避難を余儀なくされています。そんな惨状で、真っ先にリキを叱るママと、それに応戦するリキのたくましさに小気味よさを感じました。そして、叱られているリキに加勢するガールフレンドのリリちゃんの姿を、「これが ゆうじょうと いうものですよ。」と断言する作者に、なんとなく首をかしげていました。

この間久しぶりに読んでみましたが、やはり面白かったです。昔の自分の考え方に、感心しつつ突っ込みつつ読み進めるのは楽しい時間でした。衝動的に家出をしようとする割には、細かい生活用品や食糧を用意しているのが意外で、面白いと感じたのは昔と同じ。家出してもきちんと宿題はやらなきゃいけない、という考えに疑問を持たなかったのは自分もそう思っていたからなんだろうな。と昔を思い起こしながら楽しみました。

読書が好きな人も、嫌いな人も、昔読んだ本を発掘して読み返してみてもどうでしょうか。もしかしたら、前よりも二倍楽しく読めるかもしれません。嫌だけれど無理やり目を通した本の、新たな読み方を発見できるかもしれません。この新学期、いろいろな読書を始めてみませんか？



ベストリーダー (2007年9月～2008年2月)

秋学期に多く貸し出された資料を紹介し(英語教材シリーズを除く)
近年、映画化された小説が多く読まれたようです

資料名	著者名	請求記号
経営人類学：動物的精気の人間論	村山元英、小柏喜久夫著	335.1/Mu 62
容疑者 X の献身	東野圭吾著	913.6/H 55
陰日向に咲く	劇団ひとり著	913.6/G 32
パズル	山田悠介著	913.6/Y 19
レンタル・チルドレン	山田悠介著	913.6/Y 19
町長選挙	奥田英朗著	913.6/O 54
恋空：切ナイ恋物語 下	美嘉著	913.6/Mi 21/2
イチニツイテ (一瞬の風になれ：1)	佐藤多佳子著	913.6/Sa 85/1
家日和	奥田英朗著	913.6/O 54
楽園 上	宮部みゆき著	913.6/Mi 71/1
人のセックスを笑うな	山崎ナオコーラ著	913.6/Y 48

資格試験コーナー (2007年度)

LSCの資格試験コーナーで1年間に多く貸し出された資料を紹介し
このコーナーには就職活動始める前の心得なども置いています



資料名	著者名	請求記号
最新業界地図がまるごとわかる本 2008年度版	三原淳雄監修	602.1/Sa 22/2008
私の自己PR&志望理由：就職活動 2007年度版 (就職バックアップシリーズ困ったときに頼れる1冊!：4)	杉山由美子著	307/Sh 99/2007
超速マスター！一般常識 & 時事問題 '08年度版	就職対策研究会編	307/Sh 99/2008
超速マスター！SPI無敵の解法パターン	伊藤誠彦著	307/Sh 99/2008
旅行業界就職ガイドブック 2007	旅行業界就職ガイドブック編集部編集	89.6/R 97/2007
就職活動履歴書・提出書類の書き方・見せ方 2007年度版 (就職バックアップシリーズ：3)	就職情報研究会編	307/Sh 99/2007
女が仕事について考えておきたいこと	伊東明著	366.38/I 89
履歴書エントリーシート志望動機自己PRの書き方 2007年度版 (就職の赤本シリーズ)	就職総合研究所編	377.9/Sh 99/2007
銀行 2007年度版 (最新データで読む産業と会社研究シリーズ：3)		338.21/Sa 22/2007
史上最強の自己分析「驚異の」超実践法 2007年版	採用情報研究会著	307.8/Sa 25/2007
やさしいSPI 2008年度版 (大学生の就職：08-02)	家坂圭一、大久村和宏、東海朋宏著	307/D 16/08-02

図書館カレンダー（ライブラリーサービスセンター）

4

日	月	火	水	木	金	土
		①	②	③	④	⑤
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	㉑	22	23	24	25	26
㉗	28	㉙	30	31		

8

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
14	15	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

通常開館時間

	平日	土曜日
ライブラリーサービスセンター	9:00～22:00	9:00～22:00
名古屋図書館（NL）	9:00～19:00	9:00～12:30
法学文献センター（LLC）	9:00～19:00	9:00～12:30
豊田図書館（TL）	9:00～20:00	9:00～17:00

※ NL、LLC および TL の開館日は HP でご確認ください。

※都合により変更する場合があります。

無印は通常開館

■ は休館日

● は開館（10:00～17:00）

○ の開館時間（平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:30）

■ の開館時間（平日 9:00～16:00）



発行 中京大学図書館

〒466-8666

名古屋市昭和区八事本町101-2

TEL (052)-835-7157

http://www.chukyo-u.ac.jp/tosho/

印刷 株式会社 荒川印刷